

琴西地区社協

第 6 号

発行人／ 琴浦西地区社会福祉協議会
会長 白山 高 夫
事務所／ 倉敷市児島下の町 4-3-16
電 話／ (086) 473-6477
発行日／ 平成 29 年 3 月 30 日 (日)

琴浦西地区社会福祉協議会（以下当社協）の設立より九年を迎え、昨年も地区の諸団体のご支援を頂き、各種行事を行ってまいりました。皆様の温かいお支えで各行事とも、多数のご参加を頂き、楽しい会とすることが出来ましたこと誠に有難く、厚く御礼申し上げます。

地域の諸活動はあくまで自治会が中心です。琴西地区自治会連合会や地区コミュニティ協議会等と連携して運営を図ってまいりました。当社協も他地区と同様、少子高齢化が急速に進み、その上核家族化が追い打ちを掛け、行事の遂行に支障が出ていることが悩みの種でした。各自自治会とも色々対策を打っているようですが、なかなか良いアイデアが出てないのが実情です。当社協も高齢者等三世代のグラウンドゴルフ大会や三世代の餅つき大会等を実施し、お年寄りから若い人に長年経験してきた貴重な伝統文化の継承をお願いしています。

また先日テレビを見てみると、安倍首相が地元山口の神社の祭りが今では復活して、観光客が大幅に増え、私が提唱している「ふるさと創生」に貢献していると言っていました。我が旧琴浦地区（児島上の町・下の町・田の口・唐琴）には創建千三百余年の歴史ある鴻八幡宮があり、その例大祭にはだんじり十八基と千歳衆一基が急坂を勇壮に宮入する様子を各マスコミが取り上げ、その上倉敷市のご配慮により、市のホームページに掲載を頂いています。観光客も非常に増え、お



社協の活動を振り返って

琴浦西地区社会福祉協議会

会長 白山 高 夫

年寄りから幼児まで町をあげて盛り上がっています。またその際奏する祭りばやし（しゃぎり）は岡山県重要無形民俗文化財に指定されています。昨年の五月には「G7倉敷教育大臣会合」が倉敷でありました。当鴻八幡宮祭りばやし保存会が岡山県を代表してレセプションに参加を許され、G7の教育大臣に賞賛されました。この「しゃぎり」が世界中に発信できたことは非常に栄誉であります。正に「ふるさと創生」そのものだと思いたしました。特にお年寄りから幼児まで参加する祭りは地域活性化はもちろん、貴重な伝統文化の継承が重要と考えています。

高齢者の長生きは楽しみながなければならず。いくら長生き出来ても寝たきりでは意味がありません。何より健康が第一です。当社協もお年寄りの閉じこもりをなくするため、外に出て体を動かす野外活動やグラウンドゴルフ等への参加を奨励しています。みんなが連絡をとりあって少しでも閉じこもりをなくしたいと考えています。また地域社会の防犯や青少年の健全育成は家庭および学校や地域社会が連携して取り組まなければなりません。そのためにも当社協の存在意義は非常に大きいと思います。

平成二十九年度も地域の皆様のご協力を得ながら、誰でも気楽に参加でき、共に楽しめる行事を実施したいと考えていますので、ますますのご協力とご支援をお願いいたします。



平成二十八年六月四日（土）に琴浦西小学校で総会を開催し、平成二十七年年度の事業報告、決算報告並びに平成二十八年年度事業計画、予算案等の承認を行いました。

平成二十八年年度総会

地元倉敷で開催された『G7倉敷教育大臣会合』に参加

レセプション会場にて『しゃぎり』を披露する田和だんじりの皆さん



鴻八幡宮例大祭 だんじり宮入り風景

編集後記

毎年3月末を迎えると、行政・各種団体等は年度替わりで、大変あわただしくしています。当社協も今年も早や一年が過ぎた思いです。振り返ると講演会、三世代交流餅つき大会、三世代ふれあいグラウンドゴルフ大会、友愛訪問とお寿司づくり等と非常に思い出しの詰まった一年でした。

学校や地域の活動を通して生きる連帯感や問題意識が、より住みよい町作りができると強く感じました。

平成二十九年度も地域の皆様のご協力を頂きながら頑張りたいと思っています。

お知らせ

第3回
スマイルフェスタin琴西
と き 6月18日(日)

ところ 琴浦西小学校 校庭

主 催 琴浦西地区コミュニティ協議会
共 催 琴浦西地区自治会連合会
琴浦西地区社会福祉協議会

琴西小PTAと講演会を聞く

六月二十五日に琴浦西小学校の土曜参観日の教育講演会を社協会員も聞きました。講師の市原千代子先生は「NPO法人おかやま犯罪被害者サポートファミリー」の理事として、子供達に最近の「いじめ」に関する相談について幅広く指導されています。公演の内容は、最近各地の学校で「いじめ」が急激に増加傾向にあり、先生の二人のお子さんも学校で陰湿ないじめにあい、お子さんはもちろん先生自身も対応に苦労した事例を基に、講演をいただきました。いじめ問題は被害者も加害者になっても



当事者間で解決は非常に難しいので、周りの人がいち早く察知して学校や家庭・地域社会等で解決するようにして下さいとのことでした。最近スマホが急激に普及しており、仲間同士でスマホによる、いじめも増えています。親御さんもお子さんを放任せず、注意して下さいとのことでした。「いじめ問題について」の演題で家庭教育の大切さもお話いただきました。青少年の健全な育成教育は、家庭及び学校や地域で進めるものだということを強く感じました。



三世代交流もちつき大会

本年度は一自治会が増えて小西会場、天王会場、山際会場、朝間会場の四会場で三世代ふれあいの餅つき大会を実施しました。四会場とも百人を超える人で、自治会、子ども会、育成会、婦人会や老人会等のご協力を得て、にぎやかで楽しい交流が出来ました。

今年は特にノロウイルスによる中毒が全国的に発生していた中での開催が危ぶまれましたが、丁寧に手洗いをし直接餅に触れないように、ゴム手袋をするなどして、万全の注意のもと開催しました。おじいちゃんや、



おばあちゃんが昔取った杵つかとばかりに張り切って、頑張っていたのが目につきました。餅つきの絶妙な間合に、子ども達も熱い眼差しで、興味津々見ていました。小さいお子さんもお父さんに手を取ってもらいながらぎこちない中でも、楽しい杵つき餅つきの貴重な体験が出来ました。みんな笑顔が溢れていました。この意義は大きく、その上伝統文化の継承も大切だと感じ、また子ども会員の増加に、このような行事が少しでも役立てばと思いました。



第11回三世代ふれあいグラウンドゴルフ大会

平成二十九年三月五日(日)上の町公園で三世代交流グラウンドゴルフ大会を開催しましたところ、多数の同好会やその家族の方々の参加を頂いて、盛大で楽しい大会にすることが出来ました。

昨年は好天に恵まれ百人を超える参加者を迎えてのプレイでしたが、今年はいく他の行事と重なったため少し減って七十一人で、多少寂しく感じましたがその分各賞が大勢の人に回ったので大変喜ばれました。

今年は二月が例年に比べ寒さが非常に厳しく、毎日の練習が大変だったようです。日頃の練習の成果が毎年レベルが上がっているように思いました。最高齢者は九十歳で年を



感じさせない機敏なプレイをされていました。健康そのもので生きがいを感じていました。また小さなお子さんはお母さんに教えてもらいながら楽しくプレイをしていました。いたるところで笑いが絶ず、意義のある大会ができたと思います。

優勝は山際の黒瀬奈美子さん(八十一歳)・子どもの部は片引の児玉卓実くん(十三歳)・ホールインワンは十四人で昨年より三人多かったです。当日は山際地区のグラウンドゴルフ同好会の皆さんに前日の準備から、当日の進行・記録・かたづけ等までご協力を戴きました。改めてお礼申し上げます。

友愛訪問とお寿司づくり

今年もお年寄りが楽しみにして待っている、友愛訪問とお寿司づくりを実施しました。

二月二十八日に婦人会、栄養委員等の皆さんの全面的な協力で、琴浦公民館で実施しました。お寿司の配布数の確認、予算をにらんでの材料の調達等々、大変ご苦労をおかけしての実施です。婦人会等の皆さんには前日の下ごしらえ、当日は早朝よりの作業開始で、高齢化で年々増

える、お寿司の数を作るのが大変でしたが、何とか午後からお年寄りへお届けすることができました。

お年寄りの方に大変喜んで頂きました。この行事に大活躍してくださった婦人会等の皆さんも、お年寄りの皆さんの喜ぶ顔が、何よりの励みですと、頑張ってくださいました。尚各自治会単位でも実施いたしました。本当にお世話になり、ありがとうございました。

